

今後まだまだ拍車がかかっていくと思います。

市長

例えば、三条市が急にITのまちなになることはありません。三条らしい産業のまちとして、人に着目していくことが大事で、業界の方々との連携を深めていきたいと考えています。

議長

IT産業などが脚光を浴びていますが、むしろ地場産業の根底を支える職人や建設現場での作業員不足が危機的な状況になっていきます。いくら行政が手厚い方策を考えても地元人がいないとどうにもなりません。

市長

大学を卒業して地元で就職していただくのが一番よいと思います。私は東京に出てから地元に戻りましたが、Uターンで三条市に戻ってもらえるような取り組みも必要だと考えています。

議長

三条市は農業で、「しただ米」や



果物の販路開拓にも力を入れていきます。三条産の果物は種類が豊富で、とてもおいしいと評判のようです。市内には野菜の産地もあり、保内地区には植木産業があります。栄地域の工業団地も企業で埋まりつつあります。田園風景の美しさや自然の雄大な下田地域など、そういったすべてが三条の宝物であり、それらを生かす施策をしていかなければと思います。

市長

三条市と言ったもののづくりのまちのイメージですが、主要産業には、米、果物もありますし、ふるさと納税でも農産物は人気が高いので、これからもしっかりアピールを続けていきたいと思っています。

物流や観光面などの経済活動に影響をもたらす三条市と福島県只見町を結ぶ国道289号八十里越は、早ければ開通まで1年半となりました。三条市が通過点とならないようにしっかりと準備したいと考えています。

み、学校の在り方の検討は避けられない状況になってきました。

市長

市では、未来の学校検討委員会を立ち上げ、将来の学校の在り方について検討を始めています。

議長

嵐南小学校では創立当時910人いた児童が、現在は784人、将来的には新入生が1学年60人くらいになると聞きました。こうした状況からも、具体的な少子化対策を進めなければならない時期に来ていると感じています。

三条市では、手厚い子育て支援施策を講じていると思います。せっかく良い施策があるのだからもっとPRに力を入れてほしいです。

市長

ほかの自治体と比べられることがあります。やっていますが、既に三条市でもPRに努めています。口コミの影響力が強いと思いますので、保護者の皆さまから広げてもらうことも必要だと思っています。

議長

保護者同士のつながりや、ネットワークで知れ渡るとよいと思います。今は1人の子どもに對して親、祖父母が行事に参加することが多く、行事の度に駐車場が足りず大変だと聞きます。保育施設の整備などにも必要です。

◆地域産業の振興

市長

いよいよ今春に三条市立大学の一期生が卒業します。学生から卒業後も地域に残ってもらうために、インターンシップや産学連携実習の機会を増やすことが必要ですが、企業の皆さまは、学生を採用していただくために知恵を絞っていただく契機になったと思います。

議長

2期目を迎えた市長には、経済対策にも力を入れていただきたいと思っています。特に地域の建設業界などは仕事を取りたくても人材が足りないと聞いていますし、

私も開通が待ち遠しいです。福島県只見町との交流も活発ですし、いろいろな方から開通はいつになるのかと聞かれます。

市長

開通までの見通しも立ってきたので、楽しいイベントの計画を考えていきたいです。三条市全体に話題が広がっていることや、機運の高まりを実感しています。

議長

先日、道の駅漢学の里しただに行きましたが大盛況でした。八十

里越が開通すると、特に春や秋はものすごく交通量が増えると思います。個人的には、例えば観光客にお金を使っていたく施設を作るといった、三条市が単なる通過点になることのないような対策が必要であると感じます。

市長

佐渡島の金山が世界文化遺産に登録されたときは、新潟県全体に話題が広がりました。八十里越の玄関口である三条市も、お客さまをおもてなしできる体制を市民の皆さまと一緒に作っていききたいです。

